

■ 標準施工仕様

■ コロニアル・カラーベスト・スレート屋根改修仕様

(23℃)

工 程	材 料	調 合 (重量比)	所要量 (kg / m ²)	塗回数	間 隔 時 間 (hr)			備 考
					工程内	工程間	最終養生	
下 地 調 整	※1,2 ●高圧水洗(10～15MPa)で、ごみや汚れ、こけ、死膜などを除去してください。 ●高圧水洗ができない場合、ホースで水を流しながらデッキブラシ、たわし等で表面に付着したごみや汚れ、こけ、死膜などを除去してください。							—
乾 燥	※3 ●水洗後は、十分に乾燥を行ってください。(冬期3日以上、夏期2日以上) ●下地が雨や結露で濡れている場合は、十分に乾燥を行ってください。							—
1. 下 塗 り	※4,5,6,7 マイルドシーラー-EPOクリヤー 主剤	100	0.15 ～ 0.25	1 ～ 2	3 以上	3 以上 7 日 以 内	—	ローラー、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量：600～1000ml/分 パターン幅：25～30cm
	マイルドシーラー-EPO 硬化剤	33.3						
2. 上 塗 り	※5,6,8,11 エスケーププレミアムルーフSi 主剤	100	0.26 ～ 0.30	2	3 以上 7 日 以 内	—	24 以上	ローラー、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量：600～1000ml/分 パターン幅：25～30cm
	エスケーププレミアムルーフSi 硬化剤	14.3						
	塗 料 用 シ ン ナ ー A	0 ～ 20 ^{※10}	—					
3. 縁 切 り	※12 水切り部などで上下の瓦が材料で接着した箇所は、皮スキなどで縁切りを行ってください。							

■ 金属屋根・トタン屋根改修仕様

(23℃)

工 程	材 料	調 合 (重量比)	所要量 (kg / m ²)	塗回数	間 隔 時 間 (hr)			備 考
					工程内	工程間	最終養生	
下 地 調 整	注1●ディスクサンダー、ワイヤーブラシなどで、さびを完全に除去してください。 ●高圧水洗で浮き・劣化塗膜などを完全に除去した後、乾燥させてください。 ●ゴミ・油・汚れなどを完全に除去し、清浄な面としてください。 ●下地が雨や結露で濡れている場合は、十分に乾燥を行うか、モップなどで水分を拭き取ってください。							—
1. 下 塗 り	注2,3 ※5,6,8S K マ イ ル ド ボ ー セ イ 主 剤	100	0.14 ～ 0.17	1	—	6 以上 14 日 以 内	—	ローラー、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量：600～1000ml/分 パターン幅：25～30cm
	S K マ イ ル ド ボ ー セ イ 硬 化 剤	25						
	塗 料 用 シ ン ナ ー A	0 ～ 10 ^{※9}	—					
2. 上 塗 り	※5,6,8,11エスケープレミアムルーフSi 主剤	100	0.26 ～ 0.30	2	3 以上 7 日 以 内	—	24 以上	ローラー、刷毛 エアレススプレーガン 吐出量：600～1000ml/分 パターン幅：25～30cm
	エスケープレミアムルーフSi 硬化剤	14.3						
	塗 料 用 シ ン ナ ー A	0 ～ 20 ^{※10}	—					

注1. 塗り替えでは、必ず高圧水洗またはブラシによる水洗いを行ってください。これが不十分な場合、光沢のある仕上がりが得られなかったり、経年後、塗膜の剥れ・剥がれなどの原因になることがあります。また、金属露出部がある場合は発錆防止のため、水洗後の水分を直ちに拭き取ってください。水洗時は滑りやすくなるため、安全には十分ご注意ください。
注2. 下地の劣化が著しい場合や密着不良が見られる場合(全面に塗膜の剥がれが見られる場合や水洗後の付着強さが0.5N/mm²以下、またはガムテープによるクロスカットテピング試験で剥離が見られる場合など)は、脆弱塗膜を全て除去した後、下塗材に★ミラクシーラーEPO(15kgセット、6kgセット)をご使用ください。
注3. 作業環境や形状によってさびを完全に除去できない部位には、下塗材を塗装する前に、予め★サビフィックス(18kgセット、4.5kgセット)で補修塗りを行ってください。

■ 施工上の注意事項

- ※1. 必ず高圧水洗またはデッキブラシ、たわしによる水洗いにより、ごみや汚れ、こけ、死膜の除去を行ってください。特に瓦の重なり部分は、入念にワイヤーブラシを用いて除去してください。これらが不十分であれば均一な仕上がりが得られなかったり、経年後、塗膜の剥れ、剥がれなどの原因となることがあります。また脆弱な旧塗膜は完全に除去してください。
- ※2. 水洗時は滑りやすくなるため、安全には十分ご注意ください。
- ※3. 水洗後や、降雨、降雪後の乾燥を十分に行ってください(冬期3日以上、夏期2日以上)。乾燥が不十分な場合、密着性が低下し、塗膜の剥れ、剥がれなどの原因となることがあります。
- ※4. 下地の劣化が著しい場合や密着不良が見られる場合(全面に塗膜の剥がれが見られる場合や水洗後の付着強さが0.5N/mm²以下、またはガムテープによるクロスカットテピング試験で剥離が見られる場合など)は、脆弱塗膜を全て除去した後、下塗材に★ミラクシーラーEPO(15kgセット、6kgセット)をご使用ください。
- ※5. 可使時間は5時間(23℃)です。可使時間を越えた材料は下地への浸透性や下地強化能力を含めた物性低下の原因となるため、使用しないでください。
- ※6. 下塗材、上塗材の所要量は、下地の劣化の状況や形状により増減する場合があります。
- ※7. この他下塗材として、★エスケー強化シーラー(15kgセット)や白色タイプの★マイルドシーラーEPOホワイト、または★エスケーハイブリッドシーラーEPO(クリヤー・ホワイト、15kgセット)、★一液マイルドシーラーESクリヤー(14kg石油缶)もご使用いただけます。ただし、下地の劣化状況によっては適用できない場合があります。詳しくは、最寄りの各営業所へお問い合わせください。
- ※8. ★塗料用シンナーAで希釈する製品については、★塗料用シンナーAの他、★塗料用シンナーXもご使用いただけます。ただし、その他の材料の使用は避けてください。
- ※9. ★SKマイルドボーセイの★塗料用シンナーAでの希釈率は、主剤100に対して、スプレー塗りで「5～10」、刷毛・ローラー塗りで「0～10」となります。
- ※10. ★エスケープレミアムルーフSiの★塗料用シンナーAでの希釈率は、主剤100に対して、スプレー塗りで「10～20」、刷毛・ローラー塗りで「0～10」となります。
- ※11. 上塗材の希釈率は、試験塗りなどにより決定し、それ以降は同一の希釈率にて使用してください。なお、希釈率は色目及び施工時の気温により変化することがありますのでご了承ください。
- ※12. 瓦の上下に隙間がなければ、結露水の通気が不十分となり、素材の腐食・漏水の原因になる場合があります。
- ※13. 艶調製品(艶有り以外の3分艶・艶消し)は、被塗物の形状、膜厚や色目、塗回数、希釈率の差などにより、実際の艶と若干異なって見える場合があります。また、刷毛・ローラー塗装時に塗継ぎ箇所等で艶むらを生じやすい傾向があります。試し塗りの上、本施工に入ってください。
- ※14. 改装工事において、溶剤形の下塗材を使用される際に、溶剤などの影響で、剥れやちぢみなどの塗膜異状が発生することがあります。試し塗りにより確認の上、本施工に入ってください。
- ※15. 金属露出部がある場合には、発錆防止のため、水洗後の水分を直ちに拭き取ってください。寒冷地や冬季に施工する場合は、朝露や結露の発生に注意してください。
- ※16. トタン下地が見えている所や、さびの生じている箇所は、ケレン後必ずさび止め塗料を塗装してください。
- ※17. なみがたトタンの山部分や、トタン板の継ぎ目、折り曲げ部分は膜厚が薄くなりがちです。先に拾い塗りすることをお奨め致します。
- ※18. 積雪の影響を最も受けやすい軒先の部分、瓦棒の凸部はこすりつけるように増し塗りを行ってください。
- ※19. 防かび・防藻性は繁殖の抑制の効果を示すものです。施工部位の構造や形状、環境条件などにより、防かび、防藻性が十分に発揮されない場合があります。
- ※20. かびや藻が付着している場合は、「SKKカビ除去剤#5(塩素系)」にて拭き取るなど、適切な下地処理をしてから塗装してください。
- ※21. 乾燥過程で水(降雨)などの影響を受けると白化することがあります。
- ※22. 所要量は被塗物の形状、素地の状態、塗装方法、気象条件、希釈率等の各種条件により増減します。
- ※23. 塗り重ね時間は環境(温度、湿度、換気、風通しやすさ)や膜厚によって変わります。
- ※24. 低温又は高湿度時には、乾燥が遅くなりますのでご注意ください。
- ※25. 刷毛で補修塗りを行う際、スプレー塗りやローラー塗りと仕上がり肌の違いにより色目に若干の差を生じることがあります。
- ※26. 強風時、または降雨、降雪のおそれがある場合、及び気温5℃以下、湿度85%以上での施工は原則的に避けてください。低温・多湿時に塗装し、表面が十分に乾燥しないまま夜露にあたると艶引けを生じることがあります。冬期においては、施工条件が特に厳しくなる場合があるため、事前に関係者と十分な打ち合わせを行ってください。
- ※27. 夏場など下地が高湿時(50℃以上)に施工すると発泡、泡かみの原因となりますので、施工を避けてください。
- ※28. 気象条件により被塗装面に結露が発生した場合には、塗膜の密着不良を生じますので、施工を避けてください。(原則として午前9時～午後3時が推奨施工時間です。)
- ※29. 材料は規定の範囲内の希釈を厳守し、電動ミキサーなどを用いて内容物が均一になるように十分に攪拌してください。
- ※30. 性能に支障をきたす可能性がありますので、当社指定以外の材料を混ぜないでください。

【危険情報と安全対策】

- 製品の取り扱い、それぞれの安全データシート(SDS)に従ってください。特に★印のついている製品は溶剤形のため、下記の点にご注意ください。
1. 引火性の液体であるため、火気厳禁です。
 2. 有機溶剤中毒の恐れがあるため、換気に注意し、防毒マスクまたは送気マスクを使用するなどの安全対策を行ってください。
 3. 施工においては、溶剤成分が室内に流入しないように十分注意してください。
- ※屋内作業等、使用環境によっては、特定化学物質障害予防規則、有機溶剤中毒予防規則等の規制を受ける場合があります。詳しくは、別途施工仕様書等をご確認ください。

【施工後の注意】

本製品には揮発性の化学物質が含まれております。塗装直後の引渡し等において、化学物質過敏症やアレルギー体質の方への安全対策に十分留意してください。



SK PREMIUM ROOF Si

SK
PREMIUM
ROOF Si



超耐候形二液 NAD 特殊シリコン樹脂屋根用塗料

エスケープレミアム
ルーフSi

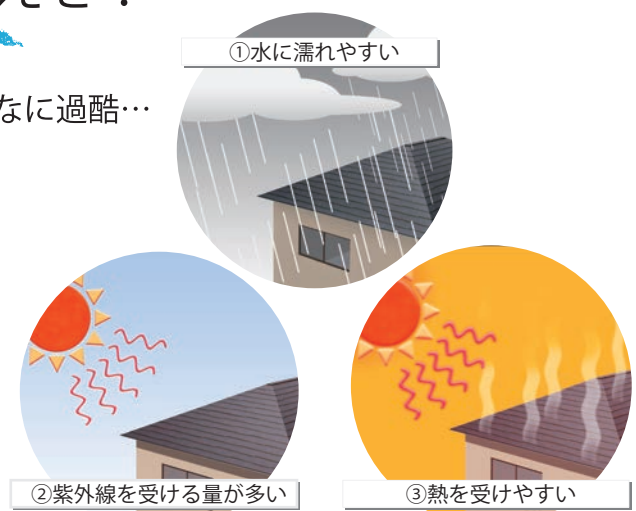
エスケー化研のプレミアムリフォームで屋根もプレミアムに

屋根こそプレミアムで塗り替えを！

壁に比べて、屋根はこんなに過酷…

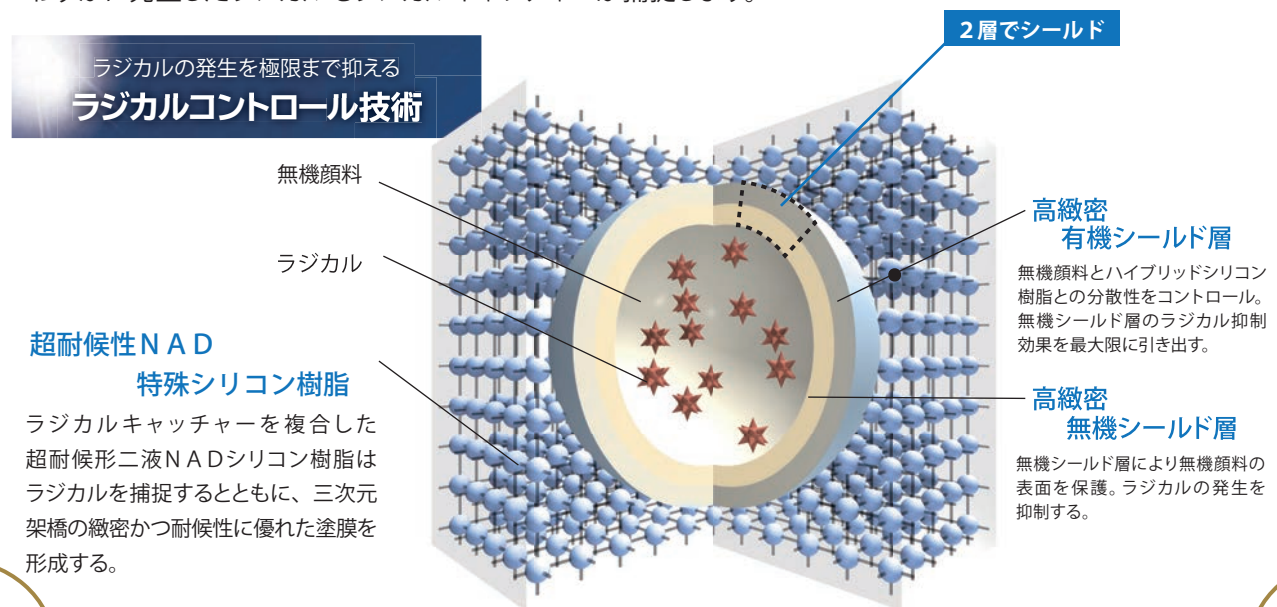
従来の汎用塗料は、紫外線、酸素、水などが、塗膜の中に含まれる無機顔料と接触することで劣化因子であるラジカルが発生し、結合材として使用される樹脂の結合が破壊され、塗膜劣化の原因となります。しかも、屋根は、壁と比べて非常に過酷な条件下におかれています。

このような悪条件の屋根にこそ、ラジカルコントロール技術と超耐候性NADシリコン樹脂により、強靱な塗膜を形成するエスケーププレミアムルーフSiをお薦めします。

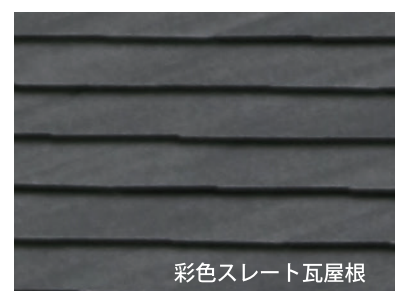


エスケーププレミアムルーフSiの ここがプレミアム

エスケーププレミアムルーフSiは無機顔料の表面を高緻密ダブルシールド層でガードすることにより、ラジカルの発生を抑制します。また、超耐候性NADシリコン樹脂により、三次元架橋の緻密な塗膜を形成するとともに、わずかに発生したラジカルもラジカルキャッチャーが捕捉します。



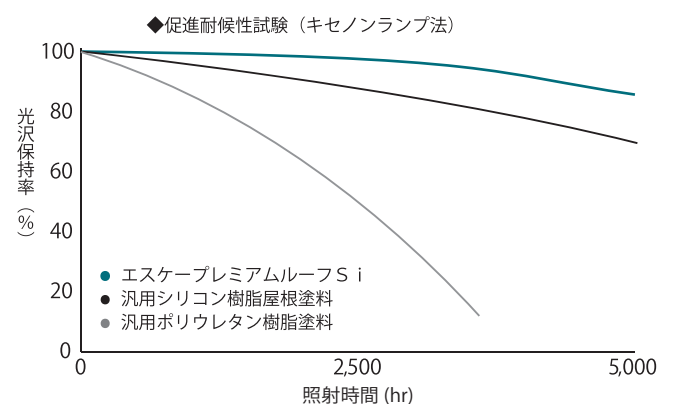
屋根の種類は様々ですが、コロニアル・カラーベスト等の色彩スレート瓦だけでなく、スレート屋根・金属屋根にも使用できます。



■ 特 長

PREMIUM 1 耐候性・耐久性

ラジカルコントロール技術により、紫外線（UV）や水、熱等の劣化要因から屋根を保護し、優れた耐候性を示します。



PREMIUM 2 防かび・防藻性

特殊設計により、かびや藻等の微生物汚染に対して強い抵抗性を示し、長期に亘り衛生的な環境を維持します。

PREMIUM 3 作業性

隠ぺい性の高い塗膜とレオロジーコントロール技術による塗り易い粘性を実現し、作業効率を向上させます。また、強溶剤と比較して臭気が少なく、作業環境の改善に役立ちます。

■ 標準色（24色）



●写真は印刷のため、実物と多少異なる場合がございます。
●※印は材料が割高になります。ご了承ください。

■ 荷 姿

- ★エスケーププレミアムルーフSi…………… 16kg セット（主剤 14kg/ 硬化剤 2kg）（標準塗坪 53～61㎡/ セット）
（艶有り・3分艶・艶消し） 4kg セット（主剤 3.5kg/ 硬化剤 0.5kg）（標準塗坪 13～15㎡/ セット）
- ★マイルドシーラーEPOクリヤー…… 14kg セット（主剤 10.5kg/ 硬化剤 3.5kg）（標準塗坪 56～93㎡/ セット）
- ★SKマイルドボーセイ…………… 16kg セット（主剤 12.8kg/ 硬化剤 3.2kg）（標準塗坪 94～114㎡/ セット）
4kg セット（主剤 3.2kg/ 硬化剤 0.8kg）（標準塗坪 23～28㎡/ セット）

注）上記の標準塗坪は一般的なものであり、下地の状態や環境などによる所要量の増減に応じて変わることがあります。ご了承ください。

■ 用 途

戸建て住宅・アパート・工場等の建築物の勾配屋根（色彩スレート瓦・金属屋根・トタン屋根）等
※薄型塗装瓦・スレート屋根の場合、基材自体の強度低下が著しく、塗装できない場合もありますのでご注意ください。

